

全国大会に向けて！！

松阪市立三雲中学校 中村 将大

僕は今年こそ絶対に全国大会に出場すると心に決めていました。そして、亀山カップと春の大会で優勝して、僕の全国大会に対する思いはどんどん高まっていきました。とても調子も良かったです。しかし、6月の合同練習中に、左手の中指を骨折してしまいました。僕は最初、県大会まで2カ月くらいあるし、治るだろうと思っていました。でも実際は、手術をして完治するまで、3カ月かかりました。いろいろな人から県大会出場辞退を勧められました。でも、県大会に出場するという思いは変わりませんでした。なぜかというと、僕は小学生の頃、一度も全国大会に出場することができなくて、夢の舞台に立ちたかったからです。

手術が終わってから、1カ月柔道着を着ての稽古ができませんでした。でも県大会の1カ月前から少しずつ練習を始めていきました。でも、現実には厳しく、県大会では自分の思うように組めない状態でした。そして、なんとか優勝して、全国大会への切符をつかむことができました。

全国大会の時はとても緊張しました。同時にとてもわくわくしました。各県の代表と戦うのはとても楽しみでした。試合前にはいろいろな方が声をかけてくれました。

大会前、ある先輩から声をかけていただきました。その先輩の言葉がとても心に残って、試合の前その言葉ばかり考えていました。その一言で緊張がとれたのは間違いありません。そのおかげもあって自分らしい柔道ができて、三位という結果を残すことができました。

これからは、この結果に満足せず、日々の練習に全力を注いでいきたいと思います。今回の全国大会でたくさんのことを学ぶことができました。支えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。



全国中学校柔道大会に出場して

松阪市立三雲中学校 大西 亜虹

今年は、4年に一度のオリンピックがリオで開催され、柔道も12個のメダルを獲得素晴らしい結果で、テレビで見る試合に大興奮の毎日でした。

リオにも負けない熱い夏になるように、目標を高く持ち、8月17日から20日まで新潟で開催された全国中学校柔道大会に私は、52キログラム級の代表として出場しました。三重県チームの雰囲気もとても良く、試合当日を迎えることができましたが、自分の試合が近づくとつれて、緊張して最初は思うように体が動かず焦りました。試合が進むにつれて、体は動いてきました。4回戦の優勝した選手との試合は、力の差も体力も全てにおいて自分とは違うと感じた試合となりました。

全国から集まった選手たちは、大会が終わったすぐから、皆次に向かって、気持ちを切り替えているのが分かりました。私も、また来年に向かってもっと練習を頑張って、もっと気持ちを強く持ち、試合本番で自分の力を出し切れる選手を目指して頑張りたいと思います。

そして、来年は、表彰台の一番高い所を目指したいです。

